

経 済 建 設 常 任 委 員 会

1. 日 時 平成30年9月18日（火）
午前11時10分 開会 午後0時00分 休憩
午後1時09分 再開 午後2時03分 閉会
2. 場 所 第4委員会室
3. 出席委員 高野哲郎委員長、浅村起嘉副委員長、井田秀喜委員、二木攻委員、橋本米子委員、表靖二委員、浅野清利委員
4. 欠席委員 なし
5. 委員会の議題
 - <都市創造部>
 - 【まちデザイン課】
 - <報告事項>
 - ・小松駅、栗津駅、明峰駅の整備状況とイベント・式典等の開催について
 - ・町家ハウスRyusukeの利用実績について
 - 【建築住宅課】
 - <報告事項>
 - ・小松市住宅マスタープランについて
 - <産業未来部>
 - 【商工労働課】
 - <報告事項>
 - ・経営モデルチェンジ支援補助金の認定について
 - ・小松市本社機能立地促進のための市税の課税の特例に関する条例の一部改正について
 - <にぎわい交流部>
 - 【観光文化課】
 - <報告事項>
 - ・第43回小松市どんどんまつりについて
 - ・石川県地域ドラマin小松「いよっ！ 弁慶」放送について
 - 【埋蔵文化財センター】
 - ・埋蔵文化財センター下半期の取り組みについて
 - 【スポーツ育成課】
 - 議案第70号 小松市体育施設条例の一部を改正する条例について
 - 議案第71号 工事請負契約について

6. 委員長報告の要旨

■小松市住宅マスタープランについて

近年急速に増加し問題となっている空き家対策など、本市の住生活を取り巻く様々な課題を踏まえ、具体的な取り組みを着実に実行することにより、市民の住生活の安定の確保及び向上に資するために住宅マスタープランを策定するものとのことです。

公営住宅については民間の賃貸にシフトしていく中で、公営住宅として残すべきところを整理していくとのことですが、建替え時にはデザイン性ではなく使いやすさを重視するように、また庁内関係課とのワーキング・ヒアリングでは、高齢者の住まいのあり方について検討するように求めたものであります。

計画の見直しについては、概ね5年ごととし、必要な変更を行うとのことですが、5年という期間にとらわれることなく、急速に変化する社会情勢に柔軟に対応していくようにも求めたものであります。

■経営モデルチェンジ支援補助金の認定について

経営モデルチェンジ支援事業に応募のあった5件について審査した結果、新型ロボットの導入による生産性向上を図る企業スマート化事業や、小松うどんを効率的に提供し、省力化を目的とする経営革新事業など3件を採択したとのことですが、今後、2次募集を行うとのことであり、更なる、本市産業の高度化や振興を図るため、共同事業やビジネスモデルの導入など、新たな事業活動を通じ、経営の向上に取り組む中小企業や、起業を希望される方々の設備投資を支援していくとのことですが、また、新たな事業活動に関連し、自動車学校が運営するドローンスクールとして、県内初の「石川ドローンスクール」が、市内自動車学校により、10月20日に開校されるとのことです。今後、様々な分野において、ドローンの活躍が期待され、その幅広い支援の仕組みづくりを求めたものであります。

■石川発地域ドラマ in 小松「いよっ！弁慶」の放送について

10月31日のNHK BSプレミアムでの放送に先立ち、9月から10月中旬にかけて市内各所でPRパネルやポスター展示、パンフレット配布などを行い、10月後半には市民向け試写会が市内で行われる予定とのことですが、

このドラマ制作を一つの契機とし、小松を舞台とした連続ドラマ制作誘致など、「歌舞伎のまち小松」のさらなる魅力発信に努めるよう求めたものであります。